

私の薬物乱用防止講演15年、笑いと涙

日立中央ライオンズクラブ

茨城県薬物乱用防止指導員

柴田

正四郎

「サーサーお立会い御用とお忙しくない方は
ゆっくりと聞いておいて」

15年前私は約650名の中学生の前で、初めての
「薬物乱用防止講演」を開始しました。子供達の目
には60歳に近い私はどの様に見えていたでしょう
か。

誰でも経験する最初の講演は、自分で原稿を作り、
チェックし、何度も読み返し、万全の準備をしたは
ずなのに、沢山のきらきら光る目を見たとたんに、
暗記した原稿が空の彼方に飛んでいってしまいまし
た。頭の中で考えている言葉と、口から出る言葉が
一致しないのです。私に与えられた時間は45分、誰
も助けてくれる人はいません。深呼吸をし、子供達
の目をしっかり見たとき自分に立ち返ることが出来
ました。当時、学校関係にも「薬物乱用防止講演」
の必要性は認識されていましたが、一般の人が講演
するとは思っていませんでした。この講演に先立
ち、校長先生と養護の先生に子供達への防止講演の
必要性と講演内容を説明したところ、校長先生
から「分かりました。講演して下さい。」との承諾
を得ての講演です。何とか無事に講演終了しました。
その後、先生方々の紹介で、さまざまな学校にて
講演をさせていただきました。

私の所属しているライオンズクラブでは全国に
「薬物乱用防止講師養成講座」が開設され、毎年多
くの講師が誕生しています。

◆講演後半、魔の20分

講演開始から一年、子供達を観察する余裕が出来
ました。講演が開始するのは午後1時と設定され
る事が多いのですが、子供達にとっては、お昼休み
の後です。薬物乱用防止講演は、要約すると「これ
をやってはダメ、あれをやってもダメ、薬物は一生
をダメにする」と、多くの言葉は否定語が多く、あ
まり面白くないのが現実です。

子供達は開始20分過ぎから、だんだん姿勢が前屈
みになります。これは講師がいくら面白い話をして
も、なかなか難しい問題です。

今のようにDVD、ビデオも無い時です。色々な
図表、写真を使用して講演後半、魔の20分を頑張っ
てもなかなか改善しませんでした。

◆油売り口上を講演に

ある日新聞に「筑波山ガマ口上保存会」から口上
士募集の記事を読み、これは面白いと無謀にも申し
込みました。それから2ヶ月講習を受けまして、土
日の筑波山詣でが始まりました。朝7時半に車で家
を出て、高速に乗り9時に筑波山神社到着、着物に

着替えて、袴に刀を差し、下駄を履いて出陣し、仲
間が待つ広場に出かけます。

こうして観光に来て下さるお客様を待ちます。パ
スのお客様は大体30〜40名でこの人達を前に「サー
サーお立会い」と口上を開始し、約15分間の独演
です。すばらしい口上には拍手喝采があり、なれな
い口上には冷たい視線、そして残念な事に最後まで
聞かずに「さよなら」と退席されることも。お願
い最後まで聞いてくださいと心の中で叫びますが心
は通じません。

厳しい世界に揉まれて約2年半、150回超えの
実践でやっと口上士の試験を受けます。合格しまし
て「筑波笑四郎」をいただきました。

ここまで来ますと観光客の皆さんとも意気投合し、
楽しい掛け合いのもと口上が出来ます。

この油売り口上を講演に採り入れることで子供た
ちを飽きさせず、インパクトの強い、記憶に残るよ
うに工夫しています。

◆ライオンズクラブの「薬物乱用防止認定講師」

さて、ライオンズクラブの「薬物乱用防止認定講
師」も充実して来ました。

地域のライオンズメンバーも、お金を掛けて認定
講師の資格を持つても活躍の場が無いと宝の持ち腐
れです。認定講師の更新は、3年毎です。活躍しな
いまま次の講習を受けることになりまますと受講料が
無駄になります。先生方からの紹介で講演依頼が多
くなり、何としても、私と一緒にやる相棒が必要に
なりました。

そして、私の所属する日立中央ライオンズクラブ
に待望の認定講師が誕生しました。それは年齢が私

より一回り若い青木さんです。二人で始めたのは、地域のライオンズメンバーの有志による、「実践話せる認定講師勉強会」です。開始から2年で勉強会を5回開催し、参加者全員に講演を実践してもらいました。メンバーの意気込みが強くなり、その後高校で7クラス同時に講演開始できるようになったのは大きな成果だと思っています。

私の講演目的は「子供を薬物から守りたい」という思いからです。多くの子供が薬物の誘惑に負けたなら、私達の家庭も、地域も、そして日本も暴力が支配する無残な世界になります。私達の薬物乱用防止講演で一人でも、二人でも薬物から救うことが出来れば大成功と思っています。

◆アメリカの病院視察で思ったこと

過日、アメリカ・シアトルにて開催されたライオンズクラブ国際大会に参加しました。その折、鈴木正二さん（ライオンズクラブ顧問）から、薬物乱用者が収容されている病院の見学をすめられ、同行の藤井さんと共に現地の人に色々調査をしてもらい、目的の病院を決めました。ホテルにてタクシーを手配してもらい、二人で待ちました。タクシーの運転手さんを見て「ヒュー」身長約2メートル、体重約100キロ超堂々とした黒人の運転手さんで、驚いたことも今は良い思い出です。英語の達者な藤井さんが何とか話をして目的の病院に到着し、幸い病院には日本語の分かる職員の方がいて説明をしてくれました。

「この病院に犯罪者は居ません。自分が依存症から脱却するため、自ら希望して治療に来ています。アメリカだけではなく世界中から患者さんが来ています。」との話です。

その治療は私の想像を超えていました。例えばアルコール依存症の場合、治療時間になると患者さんに好きなアルコールを飲んでもらいます。患者さんが満足した後、病院の用意した薬を飲ませます。薬はそのアルコールに反応して吐く薬です。その薬を飲んでもらい、何度も吐かせる。これを繰り返して約1週間でアルコールには手を出さないようになるそうです。

これだけでは無く、色々な依存症がありますが、基本的にその薬物に拒絶反応が出るまで体に覚えさせるという治療です。私達が訪問したのは山間の小さな病院でしたが、数年後には規模を大きくする計画が進んでいるとの事です。こういったアメリカの苦悩が、やがて日本でも起こりうると思いました。薬物に関しての対策は、総合的に日本がアメリカの10年遅れで進むと言われています。この様な恐ろしい病院が必要にならないように、薬物乱用防止講演に邁進したいと思っています。

◆薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

「一度だけ」「一度だけ」、好奇心から乱用する、この最初の「一度だけ」が自分の人生を奈落の底に突き落とします。

一番恐ろしいのは薬物が私達の脳細胞を破壊することです。破壊された脳細胞に再生能力はありません。壊れば壊れたまま一生を過ごすことになりまます。破壊された脳細胞は、自分の体に常に薬物の使用を要求します。思い直して薬物をやめたとしても、次に乱用者の恐怖はフラッシュバックに襲われることです。

フラッシュバックとは、一度でも薬物を乱用した人が、仕事の疲れ、ストレス等で精神のバランスが

崩れたとき、一瞬にして薬物に狂った状態になり、無差別に刃物を振り回し、見ず知らずの人に切り付けたりするのです。

また、車を運転中に薬物を使用した人が意識がなくなり、歩道を暴走し、多くの人を死傷させた、この様な恐ろしい事件があったことはまだ覚えている人も多いと思います。

薬物に狂い殺傷事件を起こした人が警察の取調べに対し、「天が誰でも良いから人を殺せと命じた」などと支離滅裂な事を話し、幻覚・幻聴により完全に狂ってしまうのです。薬物は一度でも絶対使用してはだめです。薬物は持っているだけでも犯罪です。薬物を乱用すると、いつ自分がこの様な恐ろしい狂った状態に一瞬にしてなるのか、いつも心配しながら生きてゆく事になってしまいます。薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」です。

◆私たちの「薬物乱用防止教室」実践例

次に私達が実践しています、薬物乱用防止教室の様子です。

平成27年11月11日（木）日立市立籾形小学校6年生と父母・先生合計約230名が参加し、講演時間13分50分・15分25分で行いました。

参加講師は私、青木さん、そして日立ブレイクライオンズ6名の皆さんです。

日立ブレイクライオンズクラブは茨城県、東北の女性のみで構成されたライオンズクラブです。オリジナルの薬物乱用防止の紙芝居を作成して、共に活躍しています。

体育館に生徒と父兄、先生方が全員集合して開始しますが、事前に、私達は講演機材、パソコン、ス

ピーカー、アンブ、私のガマ口上の小道具等を用意します。

校長先生のあいさつの後、生徒達の司会進行により講演開始です。

最初がライオンスクラブの紹介と、なぜ今、薬物乱用防止講演が必要かの話をして、青木さんに代わります。

青木さんは大きなお皿を持って登壇、その中にシェーピングフォームを置きかけ、この種明かしは後でします、と子供達に期待を持たせます。

子供の頃の交通安全教室から例をとり、今なぜ乱用防止講演が必要かを話します。

次にスクリーンに色とりどりの薬物を映し、名前と怖さを説明、さらに気軽さを装うため別の名前で売られていることもあると説明し、注意を促します。そして、断り方のお話に鍋とボールを利用し話を進めます。

人間は突然危険が迫った時、(物が自分に向かってくる、熱いものに触ってしまう)回避する行動をとることができます(自己防衛本能)。薬物の誘いを受けた時、同じように断ってくださいとボールと鍋を使い、子供たちに手伝ってもらいながら説明します。

つまり誘いが来た瞬間に、頑なに断る、逃げる行動をとるということになります。

自己肯定感を伝えるために、「大皿とシェーピングフォーム」の種明かしをします。

大皿は心の大きさを、シェーピングフォームはモヤモヤ、ストレスを表しています。

心いっぱいにはモヤモヤとストレスをためてしまった時に薬物の誘いが来たとしたら、弱った心、自暴

自棄の精神状態は、誘いを受け入れてしまう危険が増大してしまいます。

そうならないためにもモヤモヤを減らし、少しでも自分を大切、自分が好きだと思っ皆さんでいて下さいと訴えかけます。

そのためには友達と元気に遊び、夢になれることを持つ、さらには、笑うことを勧めます。本当にふざぎ込んだとき作り笑いでもいい。笑えなくても笑っちゃえ。それが自己肯定感を生み出します。

こうして小道具を使用し、オリジナルのパワーポイントを作成して親切な説明なので、青木さんの講演はいつも大好評です。



次は日立ブルーケライオンズの紙芝居です。体育館で講演するときは、パワーポイントを使用しスクリーンに投影します。

内容は「強くなりたいワン太郎君と痩せてモデルになりたいニャン子さんの物語」です。

ある日、ワン太郎君は強くなる薬をあげる女神、ニャン子さんには美しく痩せる薬をあげる女神が現れます(実は、女神の仮面をかぶった悪魔)。二人とも希望がかなって大喜び、何も知らずに薬を飲みます。

初めは、ただで薬をあげていましたが、だんだんお金を要求してきます。二人ともお金が無いためやめようと思いますが、いつの間にか薬物の中毒になってしまったのです。

薬物が無いと苦しくなる二人、初めは自分のお金で買っていました。お金無くなるとお母さんの財布から持ち出したり、友達から借りて薬物を買うようになり、中毒がひどくなりついに、病院に運ばれました。苦しい、苦しい、薬物をくれーと暴れる二人です。

この台詞を一人一役、効果音を入れながら全員で演じて子供達に感動を与えています。

この物語の結末は……。いつか見られることをお約束いたします。

最後に着物を着て、袴に刀を差した私が登場します、「ガマの油売り口上」です。

子供達は居眠りしている暇がありません。勿論青木さんと私の作戦です。

薬物防止講演が将来、少しでも記憶に残ってくれることを願って、DVDと話だけの講演から小道具を使用して、子供達に参加してもらう方法を取っています。

「サーサーお立会い御用とお忙しく無い方は聞いておいで」テーブルを扇子でバンバン叩きながら開始です。四、六のガマの説明から、ガマの油の取り方、薬の効用と進みます。



『ガマの油は先ず火傷、槍傷、鉄砲傷、刀傷、擦り傷、切り傷、外傷一般、歯の痛みの直し方、可愛い赤ん坊には薬を使用しないでびっくりする直し方等、何にでも効くといわれていても、ガマの油でも効かない物が有る。先ず恋の悩みと、浮気の虫（学校では勉強嫌い）。次は禿げと白髪にも効かない。最後に大事なものは、薬物乱用で壊れた心と体にも効かない。……（長すぎるので省略。）』

腰の刀を抜いての懐紙切、一枚が二枚、一枚が四枚……と128枚まで増えます。最後は自分の刀で自分の左手を切り、ガマの油を使用して、痛み・出血をびたりと止めて見せ、これだけ効くガマの油を売り込みます。さらに、男度胸に、女は愛嬌、坊さんお経に、漬物ラッキョウ、山で鶯ホーホケキョ、半額に負けて売り込みます。

これを笑ったり、怒ったりで演じます。

お知らせ ライオンズクラブ紹介 アクティビティ情報 行事案内 地域情報 お問い合わせ リンク

アクティビティ情報

2015年12月8日

薬物乱用防止教室報告・感想文（日立市立獅形小学校）

カテゴリ：薬物防止

獅形小学校にて薬物乱用防止教室を行いました。
獅形小学校はマンモス校で、6年生5クラスの子供たち162名と父兄の皆さん75名ほどが熱心に耳を傾けてくれました。初めて訪れた学校でしたが、準備・後片付けを積極的に行なってくださる。質問が嵐そのもの。など、開校140年の歴史から来るのでしょうか、素晴らしい生徒たちに魅れ合うことができた。わたしたちにとっても貴重な時間となりました。

質問を必死、子供たち、父兄の皆さんからの感想文です。ぜひご覧ください。

熊田小池悠文

獅形小池悠文（仮名）

獅形小学校の皆さんこんにちは
先日の薬物乱用防止教室には皆さんの元気に参加しました。
早速お礼（賞状）を頂きまして有難う御座います。

質問1、実際に薬物で死んでしまった人はいませんか？

お答えします。

※MDMAを友達に勧められて飲んだ人が、直後に呼吸困難になり死亡しました。（MDMAは体質によりますが、肺の細胞をどうとろに溶かし呼吸ができなくなります）
※麻薬（ドラッグ）を吸出した人が、突然死を遂げてそのまゝ死んでしました。
※37歳の上司が二日酔い後飲酒2杯を飲用して、狂ったように、突然高熱を訴えて、病院でも利して救急（28歳）

質問2、薬物に使用される事はどんな所に生じていますか？

お答えします。

※麻薬（ドラッグ）を吸用されている事は、どこにでも生じている事があります。
（NHKにて放映されたところによります。中絶の薬に生じている薬を吸い取り乾かし、粉にしてその中に大麻草の成分分を混ぜて売っています。薬物の成分が不純、大麻草の成分との組み合わせによって時には猛毒の成分が発生して、致死することもあります）

質問3、インターネット以外でも薬物は買えることが出来ますか？

お答えします。

※普通の店で売っていません。暴力などが強引に吸い取り乾かして売っているようです。こうして買った悪いお金は、世界の平和な生活を破壊する金金となっております。

質問4、薬物を手を出そうとしている人を止める為に自分達が出来ることはありますか？

お答えします。

※それは「自分の事は自分で守る」ことを話し合い、薬物の危険を色々な機会を捉えて一緒に調べましょう。仲間が誘い誘われる事をして上げ下さい。
最後は先生、又は大人の人に相談しなければなりません。

質問5、タバコをやめさせる為に、自分達が出来ることはありますか？

お答えします。

※タバコは大人の責任をしっかりと負っている友達に、言っておいて下さい。タバコは悪いし、子供が吸うと一歳「グライ」ことを。商店は止まるし、運動は遅いし、一歳に重なり病気にかかりやすくなります。

質問6、「あへん」って花なんですか？

お答えします。

※「あへん」は花ではありません。
「あへん」は「けし」の花の肉を食する禁止薬物です。春になると可愛い「けし」の花が沢山咲きますが、間違えては「あへん」の原料にはなりません。
原料となるのは「あへん」の花です。これは薬物が法律で禁止されています。
「あへん」を使用すると、あっという間に精神科の病棟が見え、友人同様に成ります。（「あへん」からは他の痛み止めを使用する「モルヒネ」を作ることが出来ます）
薬物はお医者さんが使用する薬品で、一般の人が使用するものではありません。

※薬物乱用は「ダメ、ゼッタイ」これをしっかりと胸に刻みましょう。回答 北田正西郎

【月ごとに見る ARCHIVE】

- ・2016年2月
- ・2016年1月
- ・2015年12月
- ・2015年11月
- ・2015年10月
- ・2015年7月
- ・2015年5月
- ・2015年2月
- ・2015年1月
- ・2014年12月
- ・2014年11月
- ・2014年10月
- ・全て表示

【カテゴリごとに見る CATEGORY】

- ・創会
- ・カバナー公認期間
- ・ライオンズデー
- ・創会活動
- ・業務停止
- ・創会大会
- ・よこへ祭り
- ・その他
- ・全て表示

【ご入会案内】

新会員の皆様へお礼を申し上げます。

【お問い合わせ CONTACT】

日立中央ライオンズクラブ事務局

〒317-0076

茨城県日立市御前町10-2

日立南サウナセンター2F分室

☎ 0294-37-2626

受付時間：火・木・土 9:00～17:00

・お問い合わせフォーム



勿論薬物、特にたばこ大麻、覚せい剤の恐ろしさを入れ、インターネットでいたずらにでもアクセスすると、アドレス・名前等が登録されて、後で大きな問題になります。などの話題にもふれます。

油売り口上終了後、子供達のお礼の挨拶、質問受付、時間が無い時は後でお手紙で質問を受け、これで薬物乱用防止講演は終了します。

お手紙による質問と子供達の感想文をご覧下さい。
勿論日立中央ライオンズクラブのホームページを訪問下されば、沢山の子供達の夢に会うことが出来ます。

日立中央ライオンズクラブ・ホームページのURL

<http://www.hitachichuo-lc.jp/>

